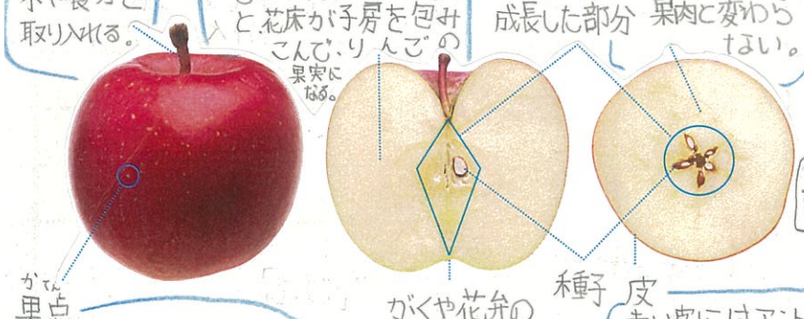
りんご新聞

5年2組16番
小泉 里碧

りんご

科名 バラ科
原産地 ヨーロッパ東南部
学名 Malus pumila
英名 apple
漢字表記 林檎

りんごはバラ科の落葉果樹で、枝を切らないと3m以上に育つ。秋にすずしい方が果実の色づきが良く、冬の寒さに特に強いので青森県や長野県など寒い所で、広くさい培されている。秋から冬に収穫するが、日持ちが良いので一年中出回る。



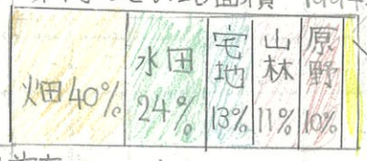
りんごの由来

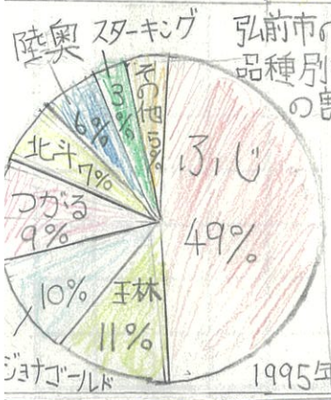
りんごは古くからヨーロッパ、アジア、北アメリカで育てられて来たが、私達が現在食べているりんごの祖先は、ヨーロッパ東南部で生まれたと考えられている。明治時代にアメリカから日本に伝わり、広く育てられるようになった。

りんごのふるさと青森県

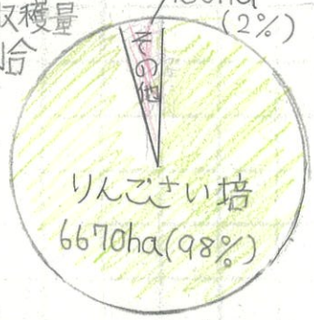
1875(明治8)年、アメリカ合衆国から入って来たわずか3本の苗木を育てたのが、青森県のりんごさい培の始まり。弘前市では、次第にりんごづくりが広まっていき、明治時代の後半には、全国一のさい培面積をほこるようになった。

弘前市の土地利用の割合と果物のさい培面積 1994年





弘前市のりんごの品種別収穫量の割合



豆知識

1 青りんごも太陽に当てると赤りんごになる!
2 昔から「1日1個のりんごを食べると医者いらず」と言われている!

りんごごよみ

収穫

出荷

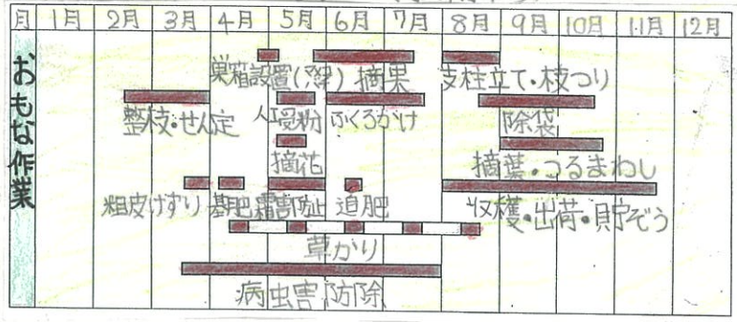
マメコバチによる授粉

人工授粉
人やハチの手を借りて授粉させる。

肥料をまく。(基肥・追肥)

アルミホイルで日光を反射させ照り返しで色づきを良くする。

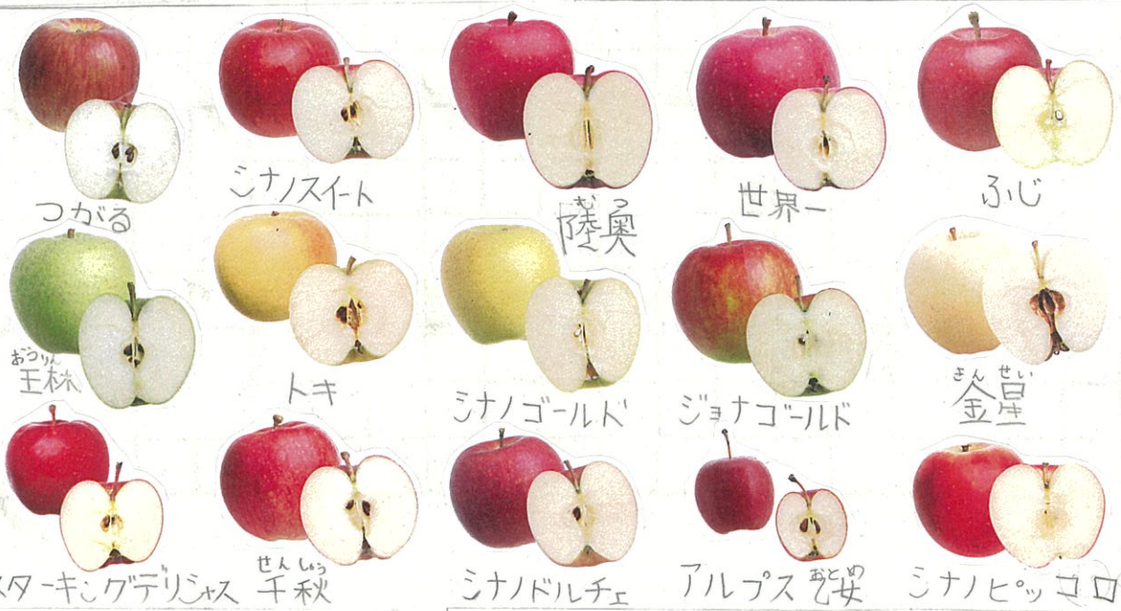
りんごづくりカレンダー(弘前市)



おもなりんごの収穫時期(津軽地方)

りんごの種類

日本には1000をこえるりんごの品種がある。「ふじ」をはじめとする日本のおいしい品種は、海外でも育てられている。



1000も!!

感想

今から120年前、アメリカからの3本の苗木から始まった青森県のりんごさい培は病虫害や台風被害と戦いながら、歴代農家の人々は様々な苦労や努力を重ねてきたことを知りました。健康にもとても良いりんごをこれまで以上に大切においしくいただきたいと思います。